

財政構造の改善と市債の償還額の抑制や残高を減少するために、市債の発行額はその年度の償還額を超えないとのルールを新たに設けることを提案！

財政構造の硬直化を改善するとともに、市債の償還額の抑制を図ることや市民一人当たりの市債残高が約145万円となっており、人口減少社会を迎えていることから、将来の世代に負担を先送りしない財政運営を行うために、市債の発行額はその年度の償還額を超えないとのルールを新たに設定するよう提案しました。市債の活用にあたっては、毎年度の償還額をみながら計画的な発行に努め、市債残高を今後減少させるような財政運営を行っていくとの答弁がありました。

市民税減税の実施の有無に関わらず、予算編成に当たり施策の順位づけと選択が求められる中で、「福祉とは何か」についての市長の見解と福祉を推進する決意を質問！

「人々が希望を持ち、生き生きと、そして将来にも夢を持って幸せに暮らせる社会や都市」という目指すべき姿がある中で、「様々な社会のギャップを埋めるものが『福祉』であり、その内容はひとり一人が異なるわけですが、市長の考える「福祉とは何か」、また、福祉を推進していく決意について質問しました。福祉とは、「幸せが市民の皆さんの所に足を留めること」であり、市が実施すべき福祉の推進に全力を挙げて取り組むとともに、守っていくとの決意が示されました。

文化芸術振興について質問！

厳しい財政状況のなか、文化芸術振興事業に取り組むうえでの基本的姿勢と、文化芸術振興基本条例制定の必要性について質問。市長には、文化事業に充てる財源確保のため、広く寄付金を募るような仕組みを工夫するとともに、文化の興隆をもって寄付の成功体験とすることで寄付文化の醸成をはかるべきと提案。寄付金確保のため、具体的に取り組む旨の答弁がありました。



福祉を始め市民サービスの維持・向上や、災害対策の強化等に向けての財源確保などを図ることができるよう市民税減税の実施内容を検討するよう提案！

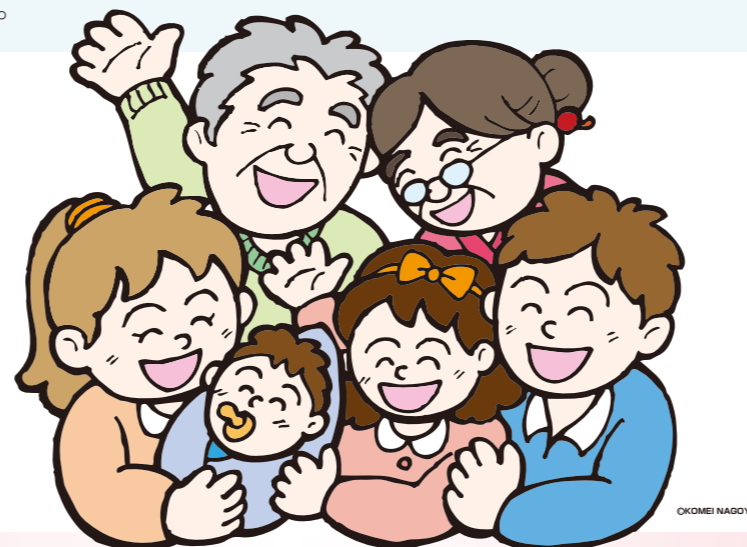
市民税減税の実施にあたっては、福祉を始め市民サービスの維持・向上、災害対策の強化などに向けての財源確保と財政収支見通しで示された収支不足額の縮減を図ることが必要かつ重要ですが、そのためにはより効果的な減税の内容について検討すべきであると提案しました。その結果、減税率を10%から5%に変更し、財源確保と収支不足額の縮減が図られるとともに、3年以内に実施内容を検証するとの減税が24年度から行われることになり、また、低所得の方や中小企業の皆さんへの支援と福祉の充実などに24年度予算編成で取り組むことになりました。

液状化区域内の震災用マンホール対策について提案！

震災時に最低限のトイレ機能を確保するため、市内の学校等の避難所に設置している震災用マンホールに対して、液状化による浮上防止対策及び接続部の耐震化を早急に行うべきであると訴え、当局より調査を含め浮上防止対策を進めるとともにトイレ機能の確保を図ってまいりますとの答弁を引き出しました。

宅地における耐震対策について提案！

過去の地震では、地盤の液状化や、谷や沢を埋め立てた造成宅地が崩落するなど、甚大な被害が発生。対策の前提となる大規模盛土造成地マップの早期策定と宅地における地質調査を支援する仕組みの創設を提案しました。造成地マップ作成のスピードアップと、一定の条件のもと、地質調査の支援制度を創設する方向であるとの考えが示されました。



上下水道の耐震化について提案！

高度経済成長期に大量に布設された上下水道管が法定耐用年数を越え、市が掲げる計画の通り改築・更新及び耐震化を進めたとしても、とても追いつかない状況であります。震災に備え重要な路の耐震化も行っていかなければならない状況であり、市の計画を前倒ししていく必要があると訴え、当局より、国の制度の活用や、コスト削減、事業進捗の精査により進捗を少しでも早めていくとの答弁を引き出しました。

「児童虐待」について質問！

10月に名東区で発生した虐待によって中学生が死亡した事件を重視し、再発防止への取り組みを強く訴えました。被害者が度重なる虐待を受け、市児童相談所も以前被害者を一時的保護したことがあるにもかかわらず、被害者が同相談所に虐待の事実を否定したことで対応が遅れたことを指摘しました。「子どもは親から暴力を受けても親をかばってしまう。子どもが虐待について相談しやすい環境が大事だ」と主張しました。また、こうした事件の再発防止を強化するため子どもを虐待する親への更正プログラムの作成を求めました。市側は同じプログラムを作成することを明言しました。

特別支援学校版トワイライトスクールについて質問！

小学校の放課後に教室などを解放し、異学年交流を図る「トワイライトスクール」を特別支援学校(4校)でも実施するよう提案しました。特別支援学校におけるトワイライトスクールについては保護者の心身の負担軽減や子どもたちが安心・安全に豊かな放課後が過ごせることから、課題を整理し検討してまいります。



市立高等学校における自転車安全教育について質問！

大切な本市の生徒を交通事故の被害者や加害者にならないために市立高等学校での安全教育として「自転車運転免許証」の取り組みを提言しました。今後、本市では新たに交通安全教育推進校を指定し、高等学校の「自転車運転免許証」の取り組みを検討するとともに、教師用の「自転車安全指導の手引き」を新しく配布してまいります。